



学んだことを生かす、考えたことを行動にうつす

校長 野田 恵美

始業式で子供たちに「学んだことを生かす子、考えたことを行動にうつせる子になってほしい」という話をしました。今回はその内容を紹介します。

長い休みの間に「がんばったこと」「できるようになったこと」「挑戦したこと」など思い出してみてください。どんな小さな事でも構いません。挑戦したことがうまくいかなかったとしてもよいのです。完璧にできるようになっていなくてもよいのです。挑戦したことがまず、大きな一歩なのです。そしてぜひ、やったことを生かして欲しいと思います。

2学期は「考える」「やってみる」「やったことを振り返る」「そしてまた新たに考える」ことに取り組んでください。学んだことを生かすとか、考えたことを実行する という場面はみなさんの生活の中にたくさんあります。簡単なこともあれば、ちょっと意識しないとできないこともあります。例えば、習った漢字を使って文章を書くとか、国語で習ったまとめ方を生活科や社会でも生かすなど、…これはもうすでにみなさんがやっていることです。道徳で「思いやりの心は大切だと思った」と気付いても、じゃあ、思いやりって何をする？何をすれば思いやりの心を大切にしたいの？ともう一歩考えます。では、考えたことをすぐに行動できるかと言ったら、ちょっと意識しないとイケませんよね。

他にも学校生活や学習の中で「こうした方がよい」と気がついて、それを始めるのには勇気がいたり、なかなか言い出せなかったりするときもあります。でも2学期は、考えたことがあったら、ぜひやってみてください。

おうちで取り組んだことを学校で生かしたり、学校で習ったことや考えたことをおうちでもやってみたりしましょう。そして、実際にやろうとしている子がいたら、応援してあげてください。小さなことでもよいのです。一人一人がまず、小さな「やってみる」を積み重ねると、城山小はもっともっと楽しく、安心して過ごせる場所になります。



今日は「学んだことを生かす子、考えたことを行動にうつせる子になってほしい」というお話でした。

—こんな話をして1ヶ月が経ちました。子供たちは今、「学んだことをつかってみよう、考えたことをやってみよう！」と頑張っています。林間学校では、自分ができることを考えて行動し、相手を思いやる5年生の姿を数多く目にしました。学校では、運動会に向けて高学年がリーダーとして盛り上げようと動いていますし、全校でスローガンを考えたり、プログラムのイラストを描いたりしています。各学年の授業では、内容も深くなり、これまで学んだことを生かす機会が増えてきました。

私たち教員も負けずに行動し、頑張る子供たちを力いっぱい応援します。



◆ 緊急時の登校についてお願い

秋は台風が多く発生する季節です。また、昨今は気象の変化が激しく、急に大雨が降るなど、子供たちの登校が心配な場合があります。予測できる場合は、可能な限りH&S配信などでお知らせしますが、状況によっては、連絡が間に合わなかったり、通学班で1人だけになってしまう等の想定外のことが起こったりします。そうした場合は近くの班と一緒に登校したり、おうちの方で対応していただいたり、ということになるかと思います。コロナやインフルエンザによる学級閉鎖などで、急に班員の欠席が増える場合も同様に、安全な登校を優先していただきますよう、お願いいたします。

◆ 「尾張旭市クールシェアスポット」を知っておきましょう

秋分の日を過ぎて朝夕、涼しくなってきました。これからも毎年このような暑さが続くことが予想されます。8月28日付で市からH&Sで配信されましたが、尾張旭市には上記のようなスポットがいくつかあります。子供たちも下校時や遊びに行った時に熱中症の危険があるときは利用できます。こちらの2次元コードからも一覧を見ることができます。



クールシェアスポット